

平成26年10月21日

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1  
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

日本小児血液・がん学会理事長  
堀部敬三 殿

日本放射線腫瘍学会理事長

西村恭昌

健保委員会委員長

中川恵一

粒子線治療委員会委員長

白土博樹

陽子線治療先進医療実施施設一同

小児腫瘍に対してX線治療よりも線量分布の優れた場合がある陽子線治療への期待は大きく、現在先進医療を進め、貴学会のご協力を得ながら保健収載を目指していることはご案内の通りであります。先般、厚生労働省主催の先進医療連絡会議にて、施設横断的にこれまでのデータを取りまとめ、平成27年6月を目指して、旧来放射線治療との比較解析を実施するべきであるとのことご指摘がありました。

日本放射線腫瘍学会（JASTRO）では、陽子線治療先進医療実施施設ワーキンググループを立ち上げ、別紙のごとく、スピーデイに多施設共同の後ろ向き試験を行うことと致しました。しかし、小児腫瘍の放射線治療に関しては患児の経過観察において、地元の小児科の医師が中心となって行っている場合が多く、陽子線治療担当施設だけでの努力では、十分なデータ収集が難しいことはご承知の通りです。

貴学会員の皆様に置かれましては、ご担当された患児の経過観察に関して、当該施設ないし本学会WGからの協力依頼がございました場合には、本案件の重要性に鑑み、ご協力のほど、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。もし、各施設内での倫理委員会などに相当の時間を必要とする場合には、あらかじめ、貴院内での事前相談をお始め頂けますと幸いです。詳細に関しましては、次ページの連絡先に、ご一報ください。

本来であれば、詳細な説明をさせていただいたうえで、ご協力をお願いするところでございますが、上記のごとく、極めて短時間での調査を必要とするため、本書面でのお願いになりましたこと、ご容赦のほどお願い申し上げます。

## スケジュール

- 2014年8月28日 : 先進医療連絡会議 (厚労省主催)
- 2014年9月26日 : JASTRO 粒子線治療委員会第1回陽子線治療実施施設 WG
- 10月20日 : 後ろ向き試験プロトコル案検討(第3回陽子線治療実施施設 WG)
- 11月 : 後ろ向き試験プロトコル完成 (第4回 JASTRO 粒子線治療委員会 WG)
- 12月 : 後ろ向き試験倫理委員会 (各病院)
- 2015年1月
- 2月 : データ収集開始
- 3月
- 4月 ; データ回収締切
- 5月 : データクリーニング
- 6月 : データ固定、解析
- 7月 : QC
- 8月 : データ提出

日本放射線腫瘍学会粒子線治療委員会

陽子線治療先進医療WG

代表者

北海道大学大学院医学研究科放射線医学分野

白土博樹 [shirato@med.hokudai.ac.jp](mailto:shirato@med.hokudai.ac.jp)

事務担当者

北海道大学大学院研究戦略室

畔木智己 [kuroki-tomomi@med.hokudai.ac.jp](mailto:kuroki-tomomi@med.hokudai.ac.jp)